

ている。

終りに、本稿が同族や問い合わせの参考になれば幸甚と願いつつ、私的な姓氏考にも係らず、紙面をさいて戴いた史談会に厚く御礼を申し上げます。

註

- 1 蒲江町史所収
- 2 大山積神社関係文書 伊予史料集成5景浦勉編
- 3 大分県史料 (37) 佐伯藩史料内
- 4 大分県史料 (11)
- 5 大分県史料 (25)
- 6 吉田町誌 上巻 系図は同町御手洗康夫氏所蔵
- 7 伝説の浜名湖 御手洗清著
- 8 「増・編年大友史料」(8)一八二・二八〇
 (23)一八一五四号史料
 「豊後大友氏」芥川龍男著所収

表紙解説

海潮山観音寺跡の宝篋印塔

直川村赤木中津留

中世の頃、下方県道沿いに一寺が建立されていた。この寺が仁田原の宝林山正定禅寺の前身で正定寺跡と呼んでいる。この跡地にあった宝篋印塔一基（在銘天正七年己卯十月五日）が正定禅寺の墓地に移されている。

ここ観音庵の古塔群も正定寺跡より移されたものである。多数の古塔の中で最もすぐれたものはこの宝篋印塔で、高さ一・七米あり、塔身上部に納経穴がある。惜しいことに銘記はない。他に小形の宝篋印塔の二基があり逆修塔である。それには永正九年壬申八月彼岸日施主敬白とあり、小形だが整っている。

「直川の文化財」より抜粋